

夢をもち、未来を切り拓く生徒の育成



茂木の風

長崎市立茂木中学校
学校だより第17号
令和5年10月25日

「茂木だからできる・茂木で育てる・茂木から未来へ」

文責 校長 野田 希世美

2年生濱口晃実さん長崎市あじさい English speech コンテスト

奨励賞受賞！！「My best town in Japan」 日本一の僕の町

前回、お知らせした2年生の濱口さんが長崎市あじさい English speech コンテストで「奨励賞」を受賞しました！！私も英語の教員ですが、この大会で賞をもらうのは本当に至難の業です。とても誇りに感じています。素晴らしいです！濱口さんは長崎市全中学校から応募があった英語スピーチの中で予選を通過し、本選で堂々と発表をしました。この大会のために濱口さんは夏休みから ALT のジャック先生や新しく来られたマローン先生と一生懸命練習をした成果です。よく頑張りました！濱口さん、おめでとうございます。今度、皆さんの前でもぜひ披露する機会を作りたいと思います。茂木中学校の生徒の皆さん、いろいろなことにチャレンジすることはとても自分の成長にプラスになります。英語に限らずおもしろそうだな、ちょっと難しそうだけど興味あるなあと思ったらどんなことでもチャレンジしてみましょ。先生たちは全力でサポートしますよ！



2年生 川口楓斗さん 濱口晃実さん 橋浦乃ノ佳さん

職場体験の感想 長崎新聞に掲載されました！～声若い広場～

10/17掲載 ～こんなに手間をかけ作られる～ 川口楓斗

「おはようございます」と大きな声でドアを開けた。目の前では職場の人たちが地元のおかし、一口香を手作りしていた。今日から3日間頑張ろうと思った。職場体験一日目。朝から昼まで700枚の紙をはる作業をした。お客さまにわたすので、ていねいにはりつけるのがとてもむずかしかった。昼からは工場で、一口香以外のおかしのアイデアを出し合った。おいしさやお客様のことなど、考えなければならないことがたくさんあった。難しいことがたくさん一日目だった。2日目は同じ作業を繰り返すのが大変だった。千個以上の一口香をふくろづめした。一日目の大変さとは少し違っていた。昼からは翌日の接客のための練習をした。明日は頑張ろうと思った。3日目は最終日。今まで体験したたくさんのことを思い出しながら、自分たちで作ったお菓子を売った。売るのはとても難しく、最初は全く売れなかった。しかし、工夫をして売ってみると、最後には150個以上売れた。みんなで一緒に喜んだ。職場体験ではたくさんを知った。特にいつも食べているお菓子がこんなにも手間をかけて作られているんだということを知ったので、これから感謝して食べていこうと思います。



裏面もあります。(濱口晃実さん・橋浦乃ノ佳さんの新聞掲載文)

10/17掲載 ～地域にある店のすばらしさ～ 濱口晃実

僕は学校行事の職場体験で、中崎水産に行った。簡単に説明すると、中崎水産は海と近接する長崎市茂木地区にあり、とらふぐ料理やうどんを中心に食事を振る舞うお店を経営してる。お店から50歩もいかないうちに美しく輝く海が一望できる。そこで2日間働いた。最初に、中崎水産オリジナルのTシャツに着替えさせてもらった。なんだか本当に働く感じがしてうれしかった。そう思うのもつかの間、早速部屋の掃除機かけにとりかかった。お客さんが来るようになると、お茶出しや接客もした。わからないことだらけでずっと立ち仕事だったので、結構疲れた。しかし、何か間違えても、お店の人が毎回優しく丁寧に指摘してくれた。知っているほかのお店と一番違うなと感じたところは、お客さんへの接し方である。ただ料理を振る舞うだけでなく、お客さんと楽しそうに会話をするのである。お客さんも楽しそうに食事をしていた。この光景を見て、まさに地域に根差す、すばらしいお店だと思った。中崎水産がこれからもおいしい料理を振る舞うお店として、そして地域の輪を広げるお店として続いてほしい。



10/25掲載 ～未知の生物を見た保育園～ 橋浦乃ノ佳

子どもは未知の生物だ。先日、私は保育園に職場体験に行った。そこには0～5歳児のクラスがあった。その中で私は1日目は0歳児、2日目は3歳児、3日目は5歳児を担当させてもらった。3日間を通してたくさんのことを学んだ。その中で印象的だったのは3日目の5歳児クラスでの出来事だ。朝は広いロビーで遊んでいると、小さいことで喧嘩が始まった。ブロックの取り合いや人形の取り合い。私は止めるのに必死だった。その後、外で運動会の練習をした。その時も喧嘩が起こって、一人の女の子が泣いてしまった。私はすぐ駆け寄ろうとしたが、先生が「大丈夫。見ててあげて。」と言った。言われたとおりに見ていると、泣いている子に他の子がかけ寄り、いつの間にか仲直りしていた。私たち中学生ではあまり見ない光景なので驚いた。それがわかっていた先生もすごいと思った。園長先生に感想を言うと、「あなたもそんな感じだったよ。」と言われ、少し歯がゆかった。子どもは些細なことですぐ泣くし、わがままで未知な生物だが、すぐ仲直りでき、素直で、笑顔にいやされる。それをそばで見られるのが保育士のやりがいだ。



11/3ふれあいまつり 茂木中学校3年生10時よりステージ参加します

ふれあいまつりが近まってきました。チラシや看板が地域でもよくみるようになりました。今年は8年ぶりに境川部屋の力士の皆さんとのふれあい会も予定されており、大規模なお祭りになるようで本当に楽しみです。午前中のプログラムに茂木中学校の生徒も合唱などで参加をします。来場された方を笑顔や元気を与えられるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。